

【登園届（保護者記入）の必要な感染症】

感染症名	初期症状	登園の目安
溶連菌感染症	発熱・頭痛・咽頭痛があり、その後細かい発疹が出る。苺舌、口角炎がある。発疹の後、皮膚がむける。感染後数週間してリウマチ熱・急性糸球体腎炎を合併することがある。	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	38℃以上の高熱・痰を伴わない乾いた咳が続く。	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手のひら・足の裏・口の中・肘・膝・お尻などに楕円形の紅斑や水疱ができる。	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑 (りんご病)	軽い風邪症状の後、両頬に蝶が羽を広げたような発感のある紅斑が見られる。手や足にレース状・網目状の発疹が出ることもある。	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロ・ロタ・アデノ等)	下痢・腹痛・悪心・嘔吐・発熱	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急に発熱し、喉が赤く水疱ができる。食欲不振・不機嫌になる。	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	39℃くらいの発熱・鼻水・咳が出る。通常1～2週で軽快する。	呼吸器症状が消失、全身状態が良いこと
带状疱疹	体の左右の半身に疼痛を伴う水疱があらわれる。带状疱疹として感染することは稀だが、水痘にかかったことのない場合は、带状疱疹から水痘という病型で感染する場合がある。	すべての発疹が痂皮化してから
突発性発疹	39-40℃の突然の発症。発熱時に軽度の咳や下痢が伴うことがある。	解熱後、機嫌が良く全身状態が良いこと
伝染性膿痂疹 (とびひ)	虫刺され、ひっかき傷などの傷口から細菌が入り込み、化膿し水疱形成する。水疱は破れやすく、皮膚のほかの部位に飛び散ってしまい新たな水疱を作ってしまう。非常に痒みを伴う。	治療開始後発疹が乾燥しているか、乾燥していない部位が覆える程度のものであること
アタマジラミ	頭の痒み。特に耳の後ろや後頭部に痒みが起きる。人の頭髮に寄生し吸血することで痒み・湿疹を生じさせる。	駆除を開始していること